

N₂チェッカー取扱説明書

●使用方法

- ①最初に必ず、チャックを解放状態で電源を入れてください。
- ②表示が【――】と表示し、約15秒後【79.0】となります。
- ③測定したい窒素入りタイヤのバルブに、チャックを取り付けます。
- ④タイヤ内の窒素濃度を測定し、数値が安定した値がタイヤ内濃度です。
(濃度測定中は、タイヤ内圧力が微量ずつ抜けていきます。)

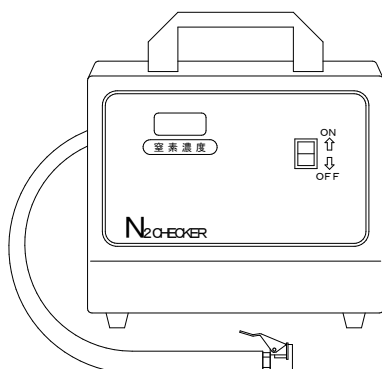
●注意事項

- (1) 電源を入れる時は、窒素入りタイヤのバルブにチャックを取り付けたまま電源を入れないでください。エラー(E E 5)が発生しますので、必ずチャックを解放状態で電源を入れてください。
- (2) 本体を傾けて使用したり、長期放置しないでください。濃度測定センサーの故障の原因となります。
- (3) 濃度測定センサーの寿命は約2年半から3年です。

●エラー表示

エラー	原因	処置
E E 5	・濃度測定センサー内に大気成分の窒素濃度(約79%)より高い窒素が残存しています。	・数分～十数分お待ち頂ければ(濃度測定センサー内の窒素濃度が大気レベルになれば)、正常に復帰致します。
E E 1	・濃度測定センサー内に高濃度窒素が残存しています。 ・濃度測定センサーの寿命です。	・数分～十数分お待ち頂ければ(濃度測定センサー内の窒素濃度が大気レベルになれば)、正常に復帰致します。 ↓(改善されない場合) ・販売会社へご相談ください。
E E 0	・濃度測定センサーのコネクタが外れている。 ・濃度測定センサーの破壊又は寿命です。	・本体内部のコネクタ確認。 ・販売会社へご相談ください。

●仕様



濃度測定	ガルバニ電池式酸素センサー
電 源	単3電池×4本 DC6V
本体寸法	W200×D150×H200